

第1問題

問1	ア	社会的障壁 (2点)	イ	医学 (2点)	ウ	社会 (2点)
問2	D (1点)					
問3	外部の関係機関との連絡調整 (3点)					
	保護者に対する相談窓口 (3点)					

第2問題

問1	ア	A (2点)	イ	D (2点)	ウ	E (2点)	エ	F (2点)
問2	学校と入院中(療養中)の児童生徒がいる場所をつなぎ、同時双方向型の授業配信を行う。(3点)							
	タブレット型端末等を活用することにより、自身の理解度やペースに合った自習教材に取り組めるようにする。(3点)							

第3問題

問1	ア	A (1点)	イ	E (1点)	ウ	C (1点)		
問2	A (2点)		D (2点)		E (2点)			
問3	(1)	別の場所に移動し、気持ちを落ち着かせることができるように指導する。(3点)						
		イヤーマフやノイズキャンセリングヘッドホン等の音量を調節する器具の使用を認める。(3点)						
	(2)	落ちついて授業を受けるための必要かつ合理的な取組で、その実施に伴う負担が過重ではないか。(3点)						
(3)	エ	基幹 (2点)		オ	発達障害 (2点)		カ	事業所 (2点)

第4問題

問1	ア	E (1点)	イ	D (1点)	ウ	A (1点)
問2	エ	D (1点)	オ	A (1点)		
問3	医療的ケア児を火気に近づけないように注意する。(2点)					
	酸素ボンベが転倒等した時は、マスクや人工鼻が外れていないか、酸素供給量が適切に保たれているかを確認の上、何か異常があればすぐに看護師等にその旨を伝える。(2点)					

第5問題

問1	ア	飲み込む (2点)								
問2	B	→	D	→	A	→	C	→	E	(順に正しく答えて3点)
問3	相手に自分が食べたい食物があることを伝えるために、カードを使ったり、簡単な身振りを交えたりして要求を伝える手段を広げる。(3点)									

第6問題

問1	ア	医療 (2点)				
問2	就労移行支援 (3点)					
問3	(1)	D (1点)	(2)	C (1点)	(3)	A (1点)

第7問題

問1	C (2点)
問2	知的機能の障がいがあるが、同じ学年であっても個人差が大きく、学力や学習状況が異なるため(3点)
問3	瓶が平らな場所に並んでいること(3点)
	水面に対して水平位置から見ること(3点)
問4	指導上の配慮事項 (3点)

第8問題

(1)	パラリンピック (2点)	(2)	情緒障害 (2点)	(3)	補聴器 (2点)
(4)	クロックポジション (2点)	(5)	指文字 (2点)		